

株主通信

2020年3月期
2019.4.1 ▶ 2020.3.31

稲畑産業株式会社

人と人をつなぐ、
あなたのベストパートナーでありたい。

IK INABATA



収益基盤を一層強化し、 継続的な企業価値の向上に努めてまいります

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの2019年4月1日から2020年3月31日における事業の概況をご報告させていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様及び関係者の皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、医療従事者はじめ感染防止にご尽力いただいている皆様に、深く感謝を申し上げます。

代表取締役社長 稲畑勝彦



当期の業績について

当連結会計年度における世界経済は、米中間の通商問題の影響があるなか、米国では景気回復

が続きましたが、中国、欧州ユーロ圏の主要国、タイやインドなどアジア新興国においては、景気に弱い動きがみられました。年度終盤にかけて、新型コロナウイルス感染の影響が

アジア・欧米全域に拡大し、景気は大きく下押しされました。

一方、日本経済は、個人消費の持ち直しもあり、緩やかに景気回復が続きましたが、国内を含む世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年度終盤に入り、大きく減速傾向となりました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、600,312百万円(対前期比5.4%減)となりました。利益面では、営業利益13,229百万円(同5.7%減)、経常利益14,211百万円(同0.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益11,415百万円(同11.5%減)となりました。

中期経営計画「NC2020」 3年目の進捗について

2021年3月期を最終年度とする4カ年の中期経営計画「New Challenge 2020(略称NC2020)」の3年目の進捗状況について、ご説明いたします。

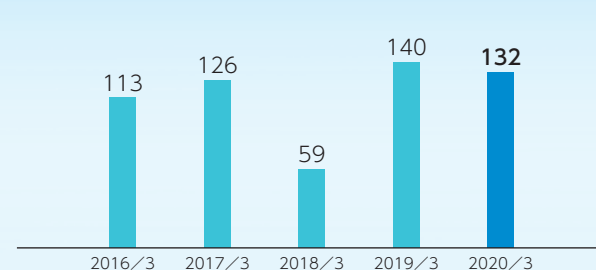
年度の前半は、売上高が伸び悩みましたが、利益面では、概ね順調に推移しました。しかし、年度終盤にかけての世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中国をはじめとするアジア各国において合成樹脂事業などのビジネスの減速が顕著となり、NC2020 3年目の計画値に

連結財務ハイライト

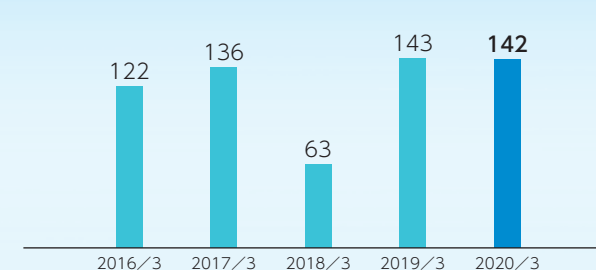
売上高 (単位: 億円)



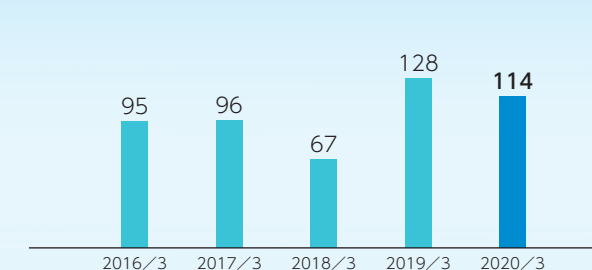
営業利益 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 億円)



対して、親会社株主に帰属する当期純利益を除き、売上高・利益共に未達となりました。

財務面では、財務の健全性を示す指標であるネット D/E レシオが、2020年3月末時点で0.16となりました。同指標のNC2020目標値は0.4以下で設定しており、財務基盤の強化は十分に達成しています。

次に事業別に申し上げますと、情報電子事業は、主力の液晶関連のビジネスが、新型コロナウイルス感染拡大下においても中国のパネルメーカーの高稼働が続き、販売が伸長しました。OA関連も、好調だった前期に比較すると低調でしたが、利益面では計画比で、概ね順調です。情報電子事業の営業利益は、44億円となり、NC2020 3年目の

計画値である42億円を達成しています。

合成樹脂事業は、樹脂価格下落の影響により、売上高が伸び悩みました。しかし、利益面では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を特に中国で受けましたが、自動車向けなど高機能樹脂の販売が通期で堅調だったこともあり、営業利益は62億円となりました。これは、NC2020 3年目の計画値である56億円を大きく上回っています。

一方、化学品事業と生活産業事業は、営業利益が計画比で未達となりました。化学品事業は、今年度より統合した旧住環境事業の低迷が主因です。計画最終年度に向けて、事業内の効率化を進め、販売力の強化を図っていきます。生活産業事業は、ライフサイエンス分野・食品分野ともに

計画比で遅れ気味です。ブルーベリーなど注力する農業分野の育成を長期的な視点に立って進めてまいります。

配当について

当期の期末配当金につきましては、1株当たり33円とさせていただきます。すでに2019年12月2日に実施済みの中間配当金1株当たり20円とあわせまして、年間配当金は1株あたり53円となります。

株主の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大が世界経済に与える影響は大きく、NC2020の最終年度となる2021年3月期は、当社グループにとっても、引き続き厳しい状況が見込まれます。

今後も長期ビジョンのありたい姿*を見据え、NC2020の6つの重点施策を着実に実行していくことにより、収益基盤を一層強化し、継続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2020年6月

※長期ビジョン(2030年頃)
連結売上高1兆円以上、海外比率70%以上など

中期経営計画「NC2020」

進捗状況

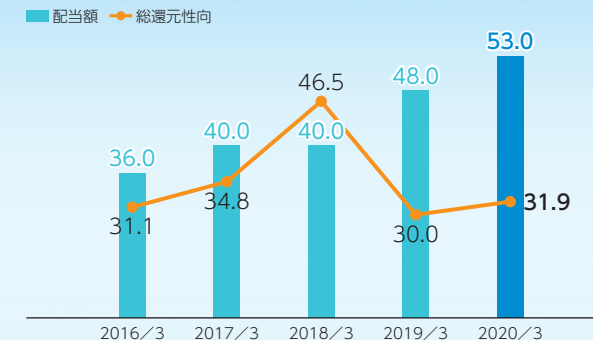
	2020年3月期 実績	2020年3月期 NC2020計画値	NC2020 最終年度の目標 (2021年3月期)
売上高	6,003億円	7,000億円	7,300億円
営業利益	132億円	145億円	155億円
経常利益	142億円	150億円	160億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	114億円	110億円	120億円
ネット D/E レシオ	0.16	0.4以下	0.4以下

※NC2020 20/3期 事業別の営業利益計画値の内訳は、情報電子42億円、化学品20億円、生活産業25億円、合成樹脂56億円、その他2億円の計145億円。

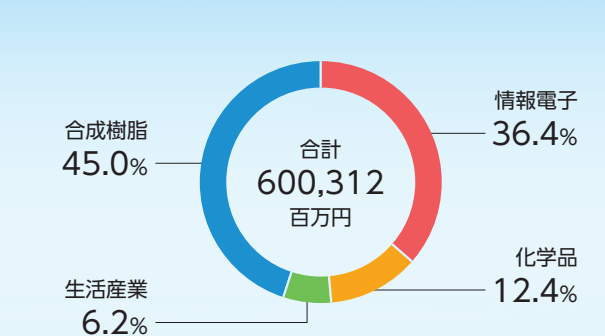
中期経営計画「NC2020」の重点施策

- 1 海外事業の更なる拡大と深化
- 2 成長が見込める市場・未開拓分野への注力
 - 自動車、ライフサイエンス・医療、環境・エネルギー分野へ引き続き注力
 - 農業を含む食品分野への新たな展開
- 3 グローバルな経営情報インフラの高度化
- 4 商社ビジネス拡大に向けた投資の積極化
- 5 保有資産の継続的な見直しと財務体質の強化
- 6 グローバル人財マネジメントの確立

1株当たりの配当額・利益還元指標(単位:円/%)



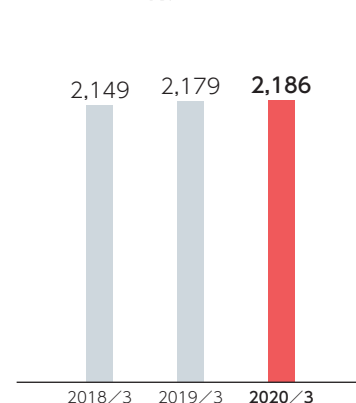
事業区分別売上高構成比(2019年4月1日~2020年3月31日)



情報電子事業

世界各地の拠点と連携し、原材料だけでなく、ワールドワイドのサプライチェーン構築などの機能をご提供します。

セグメント別売上(単位:億円)



売上高
218,690百万円 対前期比 **0.4%増** ↗

セグメント利益
4,482百万円 同 **7.0%減** ↘



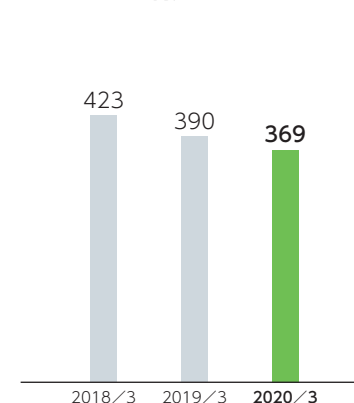
- 液晶関連では、偏光板の販売が中国において伸長しました。
- LED関連では、材料の販売が減少しました。
- インクジェットプリンター・複写機関連では、販売が減少しました。
- 太陽電池関連は、大型システム案件の納入や海外向けパネル材料の販売が伸長しました。二次電池関連では、材料の販売が堅調でした。
- 半導体関連では、装置の販売は減少しましたが、材料の販売は伸長しました。
- 電子部品関連では、材料の販売が減少しました。

2020/3より、住環境事業は化学品事業に統合しています。
2018/3、2019/3の実績も、変更後の区分に基づき作成しています。

生活産業事業

ライフサイエンスと食品を通じて、人々のより健康で快適な生活に貢献します。

セグメント別売上(単位:億円)



売上高
36,919百万円 対前期比 **5.4%減** ↘

セグメント利益
1,166百万円 同 **11.0%減** ↘

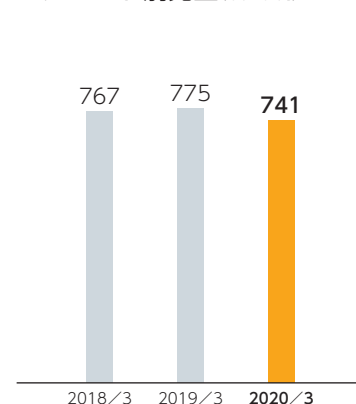


- 海外向け医薬品関連の販売は好調でしたが、中国では環境規制などの影響もあり、医薬原料の販売が低調でした。
- ホームプロダクツ分野は、防・殺虫剤関連の販売が減少しました。
- 食品関連では、輸入水産加工品の販売が低調でした。国内では回転寿司向け魚のスライス加工品の販売が伸長しました。
- 農産品では、北海道余市町の自社ブルーベリー農場で、初収穫を行いました。

化学品事業

マーケット、商材の専門知識に加えて物流関連の機能をいかし、顧客のニーズに合わせた最適なソリューションをご提案します。

セグメント別売上(単位:億円)



売上高
74,181百万円 対前期比 **4.3%減** ↘

セグメント利益
1,208百万円 同 **15.1%減** ↘



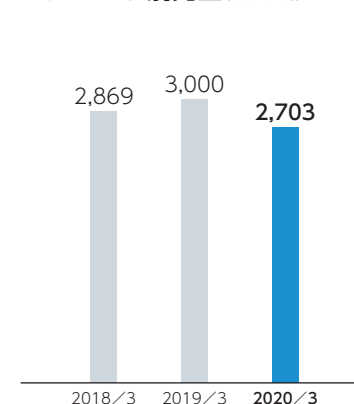
- 樹脂原料・添加剤の販売は、中国の環境規制の影響もあり低調でした。
- 自動車部品業界向け原料の販売は、EV向けが伸長しました。
- 塗料・インキ・接着剤分野向け原料販売は、輸入販売が好調でした。
- 製紙業界向け薬剤の販売は、減少しました。
- 建築資材関連は、住宅着工件数の減少もあり低調でした。

2020/3より、住環境事業は化学品事業に統合しています。
2018/3、2019/3の実績も、変更後の区分に基づき作成しています。

合成樹脂事業

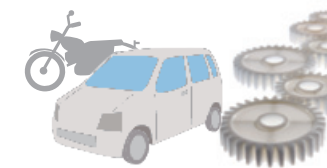
国内外のネットワークとグループのメーカー機能を活用し、材料の選定から加工に至るまで顧客をトータルにサポートします。

セグメント別売上(単位:億円)



売上高
270,345百万円 対前期比 **9.9%減** ↘

セグメント利益
6,235百万円 同 **1.7%減** ↘



- 樹脂の販売は、価格下落の影響が大きく、日用品向けなど総じて販売が低調でした。
- 自動車向けの販売は、国内外で堅調でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕著となり、中国において減少しました。
- OAや電機関連向けの販売は、中国や東南アジアにおいて低調でした。
- 樹脂コンパウンド事業では、メキシコ拠点において利益面で苦戦しました。
- フィルム・シート関連では、食品用包材や工業部材用原料の販売が減少しましたが、グリップテープの販売は横ばいでした。

企業理念浸透への取り組み

稲畑産業は2020年10月に創業130周年を迎えます。フランスで、当時世界最先端の染料技術を学んだ創業者の稲畑勝太郎は、1890年に当社の前身である稲畑染料店を開業しました。当社の社是「愛敬」には、人を愛し敬うという創業者の想いが込められており、長い年月を経た今も社員の心に根付いています。



創業者 稲畑勝太郎の肖像

「共通の価値観」で強みを発揮

当社の「経営理念：Mission」「目指す姿：Vision」「価値観：IK Values」は、2010年に管理職の社員らが半年にわたる議論を重ねて取りまとめ、明文化されました。稲畑産業グループは当時3,600名のグローバル企業に成長していました。現在の6代目社長稲畑勝太郎は、多様性に富む豊富な人材が本当の強さを発揮するには「稲畑産業としての共通の価値観」を共有することが必要だと考えたのです。中でも「価値観：IK Values」は社員同士が互いに誓いを立て、実行に責任を負うべきものであり、グループのさらなる発展の共通基盤として定められました。



企業理念が書かれたカードを手に（稲畑フィリピン）

現在海外17カ国約60拠点で事業展開する稲畑産業グループは、中期経営計画「NC2020」達成に向け一丸となって取り組んでいます。事業がますますグローバルに拡大する中、「価値観：IK Values」への理解を深めるため、2018年から2年にわたり「IK Values浸透ワークショップ」を海外14カ国36拠点で開催しました。ワークショップでは、社員にそれぞれの言葉で価値観（IK Values）を表現してもらい、実践を促しました。今後とも、社員一人一人の未来と、稲畑産業の未来を結びつけ、グループ全体の成長を図りたいと考えています。



社員一人一人にとっての価値観（IK Values）

社是：愛敬

経営理念 Mission

「愛」「敬」の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献する

目指す姿 Vision

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、グローバルに事業を展開することにより、価値ある存在として常に進化を続ける

価値観 IK Values

- 謙虚さと誠実さを基本とする（倫理観）
- 高い理想、大きな夢、熱い心を持って常に限界に挑戦する（志）
- 自由闊達な議論とチームワークを重んじ、社員の成長を大切にする（組織風土）
- 顧客の問題を顧客の立場から解決し、顧客のベストパートナーとなる（機能）
- 世界の人々と価値を共有し、そこに暮らす人々と共に発展する（共生）

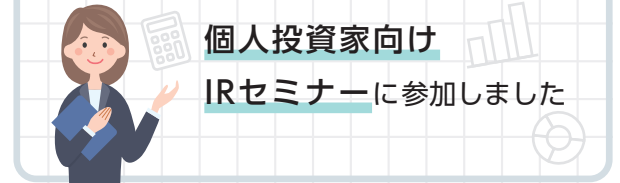
企業理念浸透
ワークショップ
の様子



稲畑アメリカにて



ベトナムの樹脂コンパウンド工場にて



個人投資家向け
IRセミナーに参加しました

第15回 日経CNBC 女性のためのIRセミナー



日時
2019年12月4日(水)
場所
東京金融ビレッジ
(東京・大手町)
参加者
約100名
主催
日経CNBC

「第15回 日経CNBC 女性のためのIRセミナー」に参加しました。同セミナーでは、女性投資家の皆様に会社の歴史や株主優待制度について、IR担当者をご説明しました。

野村IR資産運用フェア2019



日時
2019年
12月20日(金)~21日(土)
場所
ベルサール渋谷ガーデン
フェア来場者
9,700名
主催
野村インベスター・
リレーションズ株式会社

渋谷で行われた「野村IR資産運用フェア2019」に出展しました。講演会場では、稲畑社長による会社説明会を行いました。当社ブースではミニ説明会を実施し、多くの個人投資家・株主の皆様にご参加いただきました。

連結貸借対照表(要旨) (単位：百万円)

科目	前期末 2019年3月31日現在	当期末 2020年3月31日現在
流動資産	256,567	245,136
固定資産	109,947	77,711
資産合計	366,514	322,848
流動負債	164,618	150,776
固定負債	37,198	24,344
負債合計	201,817	175,121
純資産合計	164,697	147,726
負債純資産合計	366,514	322,848

連結損益計算書(要旨) (単位：百万円)

科目	前期 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当期 2019年4月1日～ 2020年3月31日
売上高	634,740	600,312
売上総利益	47,257	46,259
販売費及び一般管理費	33,226	33,029
営業利益	14,031	13,229
営業外損益	278	981
経常利益	14,309	14,211
特別損益	4,486	2,495
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,896	11,415

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：百万円)

科目	前期 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当期 2019年4月1日～ 2020年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	12,510	10,690
投資活動による キャッシュ・フロー	743	△ 525
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 19,546	△ 7,273
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 54	△ 421
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,346	2,469
現金及び現金同等物の期首残高	29,235	23,011
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	122	-
現金及び現金同等物の期末残高	23,011	25,480

- Point 1 流動資産の減少**
受取手形及び売掛金が減少したこと等により、11,430百万円減少しました。
- Point 2 固定資産の減少**
時価の下落により投資有価証券が減少したこと等により、32,235百万円減少しました。
- Point 3 流動負債の減少**
支払手形及び買掛金が減少したこと等により、13,841百万円減少しました。
- Point 4 純資産の減少**
その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、16,970百万円減少しました。
- Point 5 営業利益の減少**
売上高の減少により、801百万円減少しました。
- Point 6 親会社株主に帰属する当期純利益の減少**
投資有価証券売却益が減少したこと等により、1,481百万円減少しました。

会社概要 (2020年3月31日現在)

会社名	稲畑産業株式会社
創業年月日	1890年10月1日
設立年月日	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
従業員数	648名(グループ会社への出向者を含む) [連結4,282名]
大阪本社	大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店	名古屋市中区名駅二丁目27番8号
営業所	塩尻営業所、浜松営業所、九州営業所(霧島市)

株式情報 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	200,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	63,499,227株
株主数		10,648名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	22.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,682	4.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,538	4.2
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.9
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,280	2.1
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,275	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,237	2.0
稲畑 勝雄	1,161	1.9
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,082	1.8
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM	1,008	1.7

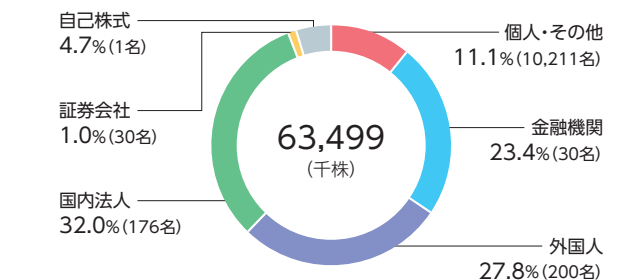
(注)当社が保有する自己株式数3,010,320株(ただし「株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式100,000株を除く)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

役員 (2020年6月23日現在)

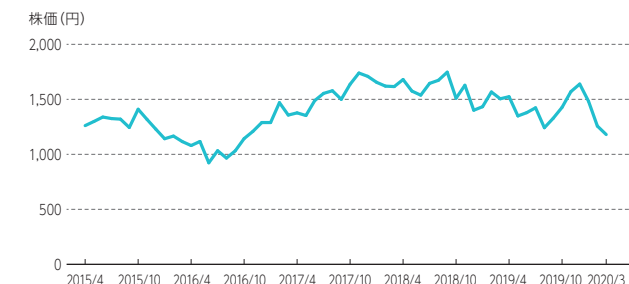
代表取締役社長執行役員	稲畑 勝太郎	常勤監査役	望月 卓
代表取締役専務執行役員	赤尾 豊弘	常勤監査役	久保井 伸和
代表取締役専務執行役員	横田 健一	監査役	高橋 慶孝
取締役常務執行役員	佐藤 友彦	監査役	柳原 克哉
取締役常務執行役員	杉山 勝浩	監査役	玉井 哲史
取締役常務執行役員	安江 範臣	執行役員	小田 吉哉
取締役	出口 敏久	執行役員	幡本 裕之
取締役	蟹澤 俊行	執行役員	花木 和宏
取締役	佐藤 潔	執行役員	河合 紳也
取締役	濱島 健爾	執行役員	高橋 豊治

(注)1.取締役 蟹澤 俊行、佐藤 潔及び濱島 健爾は、社外取締役であります。
2.監査役 高橋 慶孝、柳原 克哉及び玉井 哲史は、社外監査役であります。

所有者別株式分布状況 (2020年3月31日現在)



株価の推移(月間終値)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	毎年6月開催
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載します。 https://www.inabata.co.jp/koukoku ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	8098
単元株式数	100株
会計監査人	大阪市中央区瓦町三丁目6番5号 銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

- 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 特別口座について
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

定時株主総会に関するご報告

定時株主総会に関する決議ご通知につきましては、書面のご送付に代えて、当社ホームページにてご案内させていただいております。

 <https://www.inabata.co.jp/investor/>

株主優待制度について

株主優待の内容

当社オリジナル
QUOカード



(注) QUOカードのデザインは額面により異なります。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝して、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に、株主優待品をお送りしております。

ご発送の時期

毎年12月初旬頃に第2四半期株主通信と併せて発送いたします。

継続保有期間	保有株式数		
	100株以上 200株未満	200株以上 300株未満	300株以上
6カ月未満	500円分	500円分	500円分
6カ月以上3年未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
3年以上	2,000円分	3,000円分	5,000円分

※保有期間について

- 優待品贈呈の対象となる株主様は、毎年、贈呈の基準日を9月30日として、各継続保有期間中のすべての基準日時点の株主名簿において、保有株式数の条件を満たし、かつ同一の株主番号が継続して記録されている株主様となります。
- 当社は毎年、3月31日、6月30日、9月30日、12月31日を株主名簿の記録確認の基準日としています。

